

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-3-2
情報発信等誘客宣伝活動の強化

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 観光振興課長 木次 淳 電話番号 0852-22-5625

事務事業の名称	島根県観光連盟支援事業	
目的	(1) 対象	公益社団法人島根県観光連盟
	(2) 意図	島根県への観光客誘致活動を積極的に行えるよう支援・連携する
事業概要	島根県観光連盟が観光客誘致活動を積極的に行えるよう補助・負担を行う	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	観光入り込み客延べ数	目標値	33,370.0	33,530.0	33,690.0	33,850.0	34,000.0	千人
	式・定義	毎年の観光動態調査結果	取組目標値						
				実績値	33,171.0	33,119.0	32,303.0		
			達成率	99.5	98.8	95.9	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
				実績値					
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	54,138	58,175
うち一般財源 (千円)	54,138	58,175

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・H24に事務局を2課（総務企画課・営業課）体制とし組織の強化を図った。
- ・プロパー職員については、H25、H26に1名ずつ採用した。H28には、新たに2名を採用し、うち1名は県観光振興課国際観光グループへ派遣し、県との更なる連携を図っている。
- ・嘱託職員については、H26に2名、H27に1名を増員し、H28には民間からの派遣枠を嘱託職員に振り替え、組織体制の強化を図った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・県外旅行会社への旅行商品造成の営業活動（72件）、マスメディアの取材協力（22件）、マスメディアへの営業活動（18件）等、県外での誘客プロモーションを積極的に実施した。
- ・教育旅行素材説明会（2回）の実施、MICE団体おもてなしキャンペーンのPR及び実施、県内女子会との連携による「しまね欲張り図鑑」の運営など、新市場開拓にも積極的に取り組んだ。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・インバウンド対策や石見地域の観光誘客の強化等、島根県観光連盟に求められる役割が多様化しており十分な対応ができていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・島根県観光連盟として、求められる役割に的確に対応できるだけの体制がまだ十分に整っていない。

③原因を解消するための「課題」

- ・観光振興課に派遣しているプロパー職員のインバウンド対策に関するノウハウ向上を図る必要がある。
- ・広域観光を推進するため、島根県や山陰インバウンド機構など一層の連携を図る必要がある。
- ・地域の観光素材を磨き上げ旅行商品の造成を進めるため、市町村や地域の観光協会などとの連携をより強化する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・島根県観光連盟は観光事業者等への専門的支援組織として専門性と継続性の強化が必要であり、求められる業務の多様化に対応するための人員体制の確保や職員の専門性の向上に対して支援を継続していく。